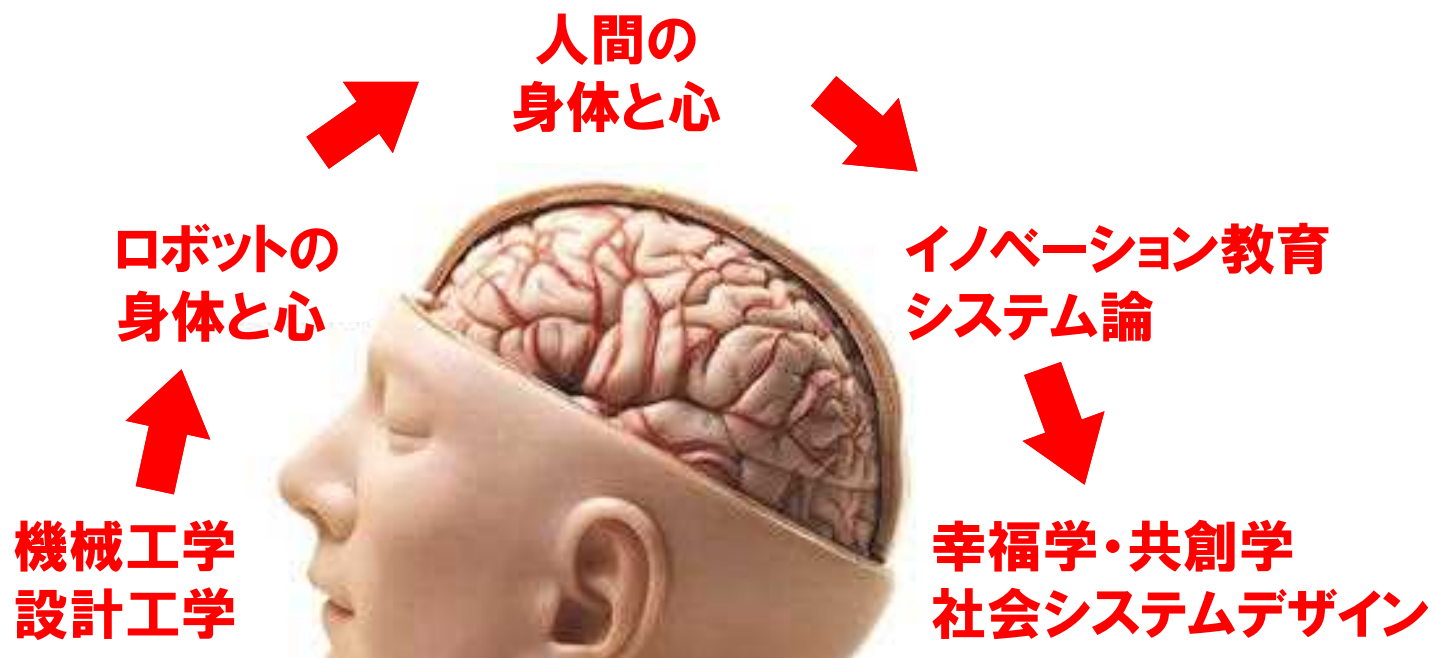


ウェルビーイングの現在と未来

慶應義塾大学
前野 隆司



前野 隆司 TAKASHI MAENO



(広義の健康)

Well-being

良好な 状態



(狭義の)

健康



幸せ 幸福

happi-
ness

感情としての
の幸せ



福祉



今年をウェルビーイング元年に 十字路

[マーケットニュース](#)

[+ フォローする](#)

2022年1月5日 11:30 [有料会員限定]



自民党 ウェルビーイング計画推進特命委員会



自民党前政調会長
下村博文



自民党
上野通子



慶應義塾大学
前野隆司



東大・慶大
鈴木寛



慶應義塾大学
宮田裕章



早稲田大学
スズキトモ



NTT
渡辺淳司



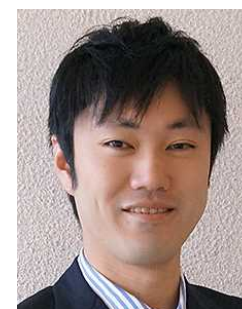
東大
柳川範之



一橋大学
伊藤邦雄



日立
矢野和男



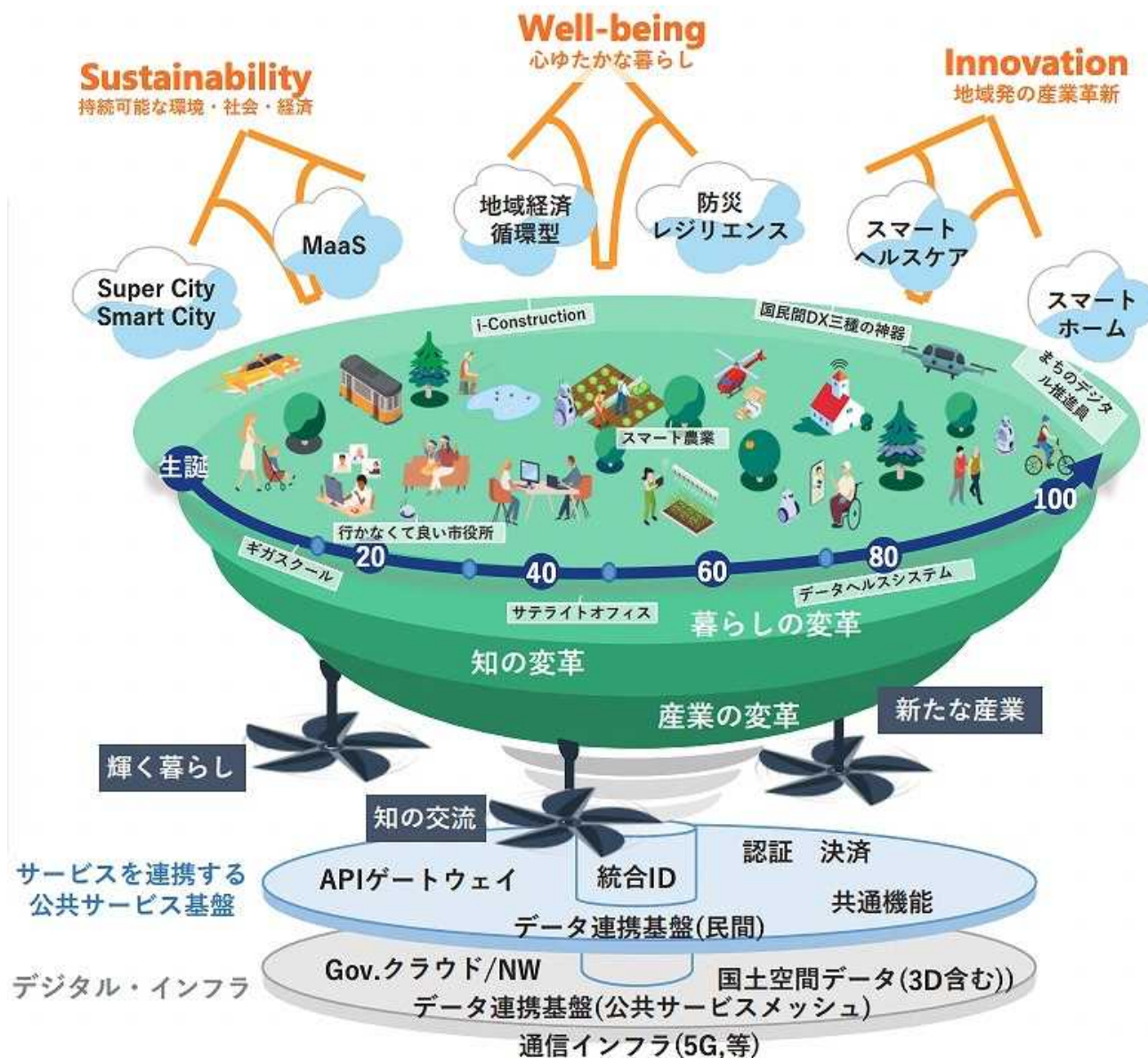
WBfPE財団
石川善樹



楽天
小林正忠

政府

ウェルビーイングが デジタル田園都市 国家構想の指標 に！

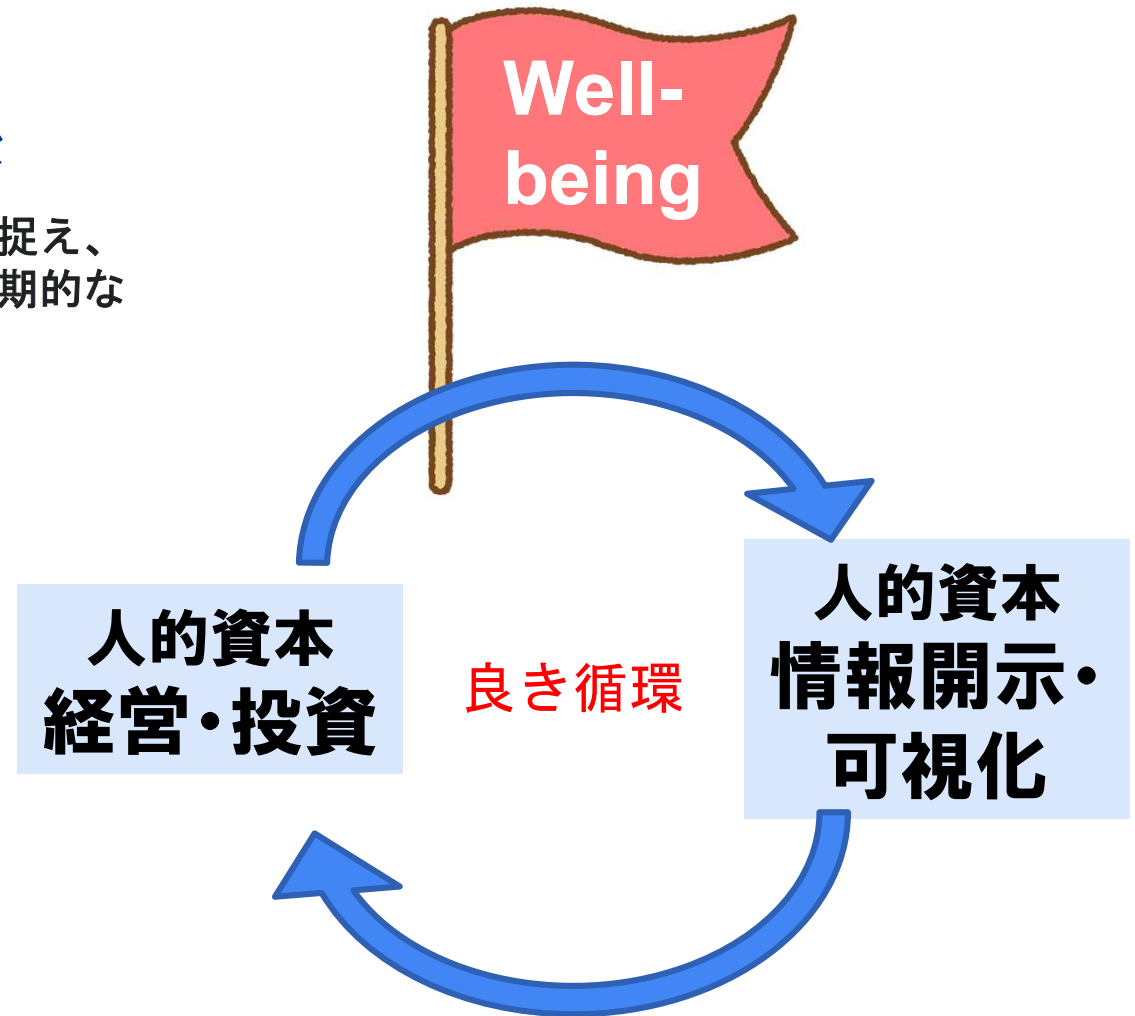


人的資本経営と ウェルビーイングの関係

人的資本経営とは、人材を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上につなげる経営のあり方



伊藤 邦男
一橋大学名誉教授



ウェルビーイング学会 会員募集中！



慶應義塾大学
前野隆司



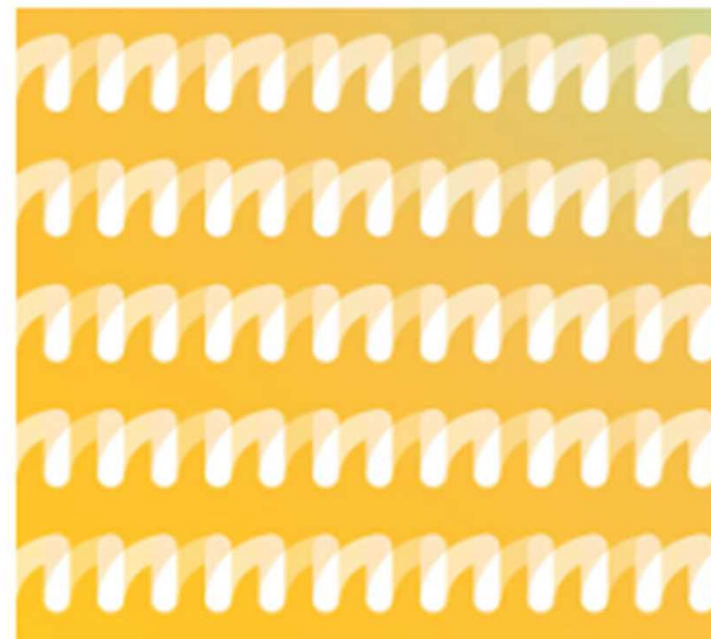
東大・慶大
鈴木寛



慶應義塾大学
宮田裕章



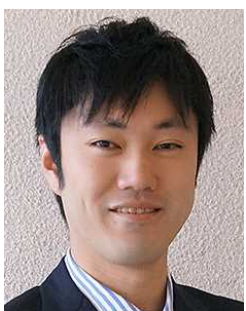
京大
内田由紀子



埼玉県立大
秋山美紀



福井県立大
高野翔

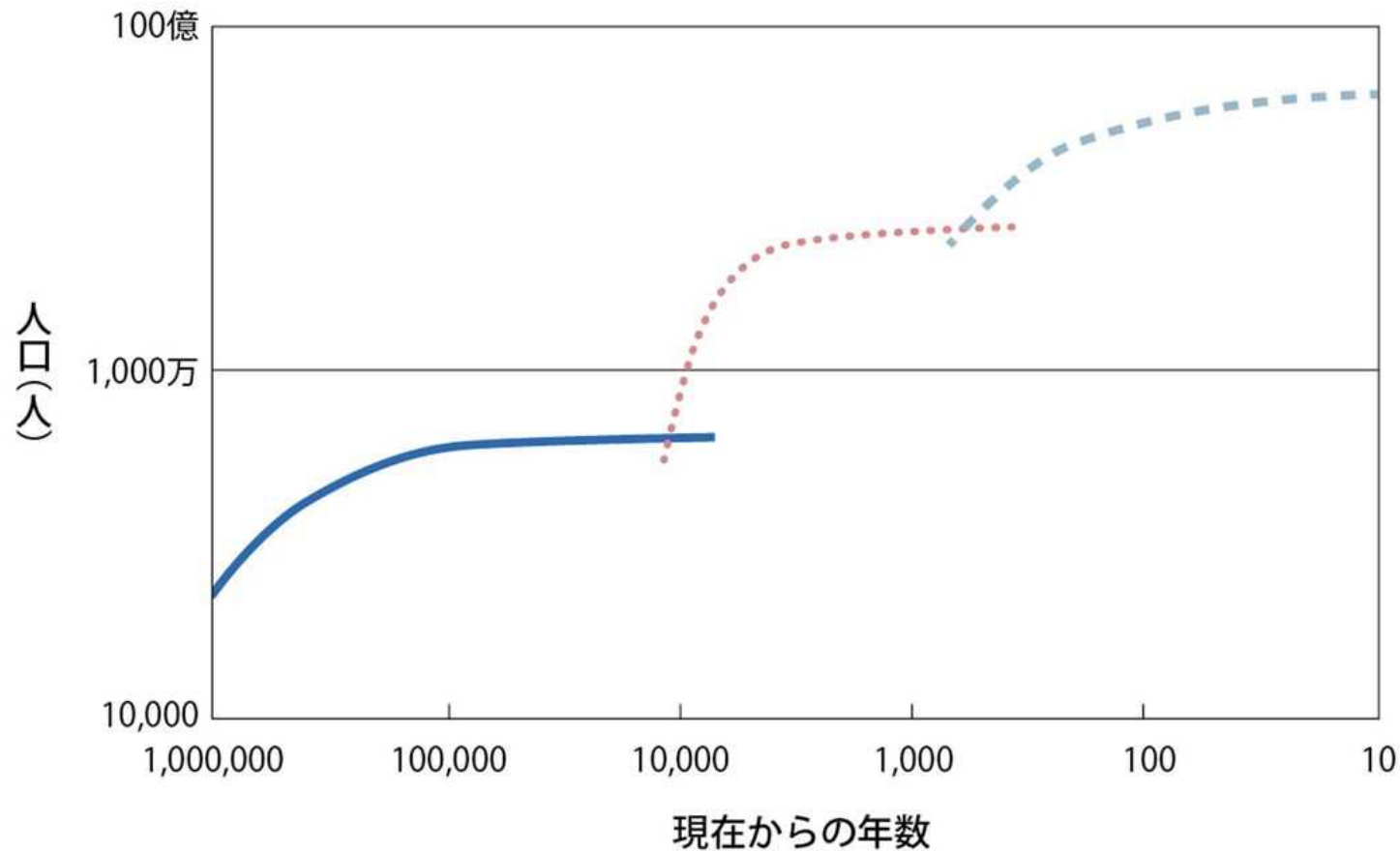


WBfPE財団
石川善樹



叡啓大
保井俊之

■世界人口の超長期推移（ディーヴェイの仮説的図式）



東洋経済オンライン
2020.1.27

「グretaさん」は現代の
「イエスかブッタ」なのか

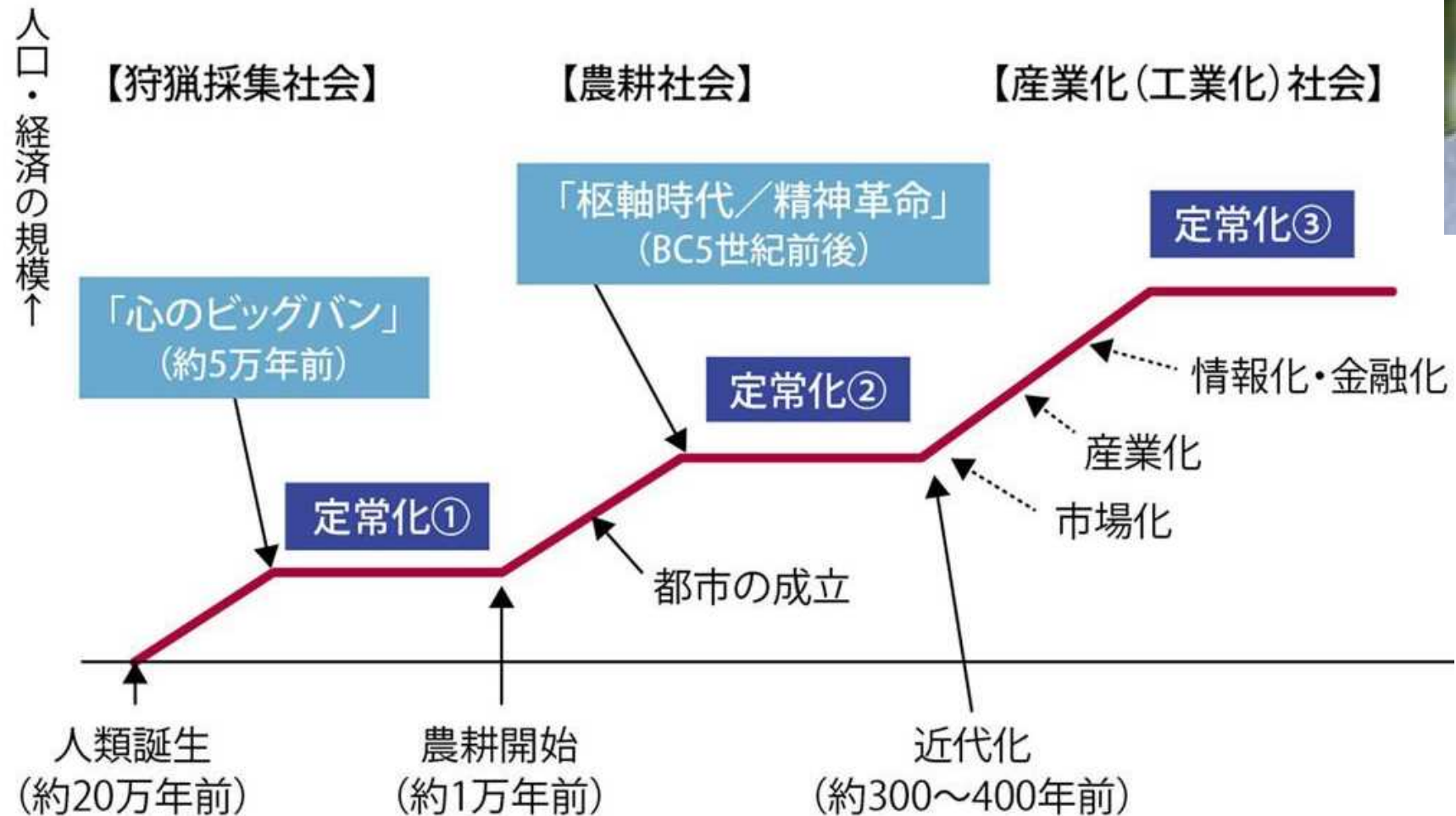
「人類史の移行期」に
生まれる価値観と倫理

広井良典

(出所) Cohen, Joel E. (1995), How Many People can the Earth Support?, W.W.Norton&Company

© Takashi Maeno

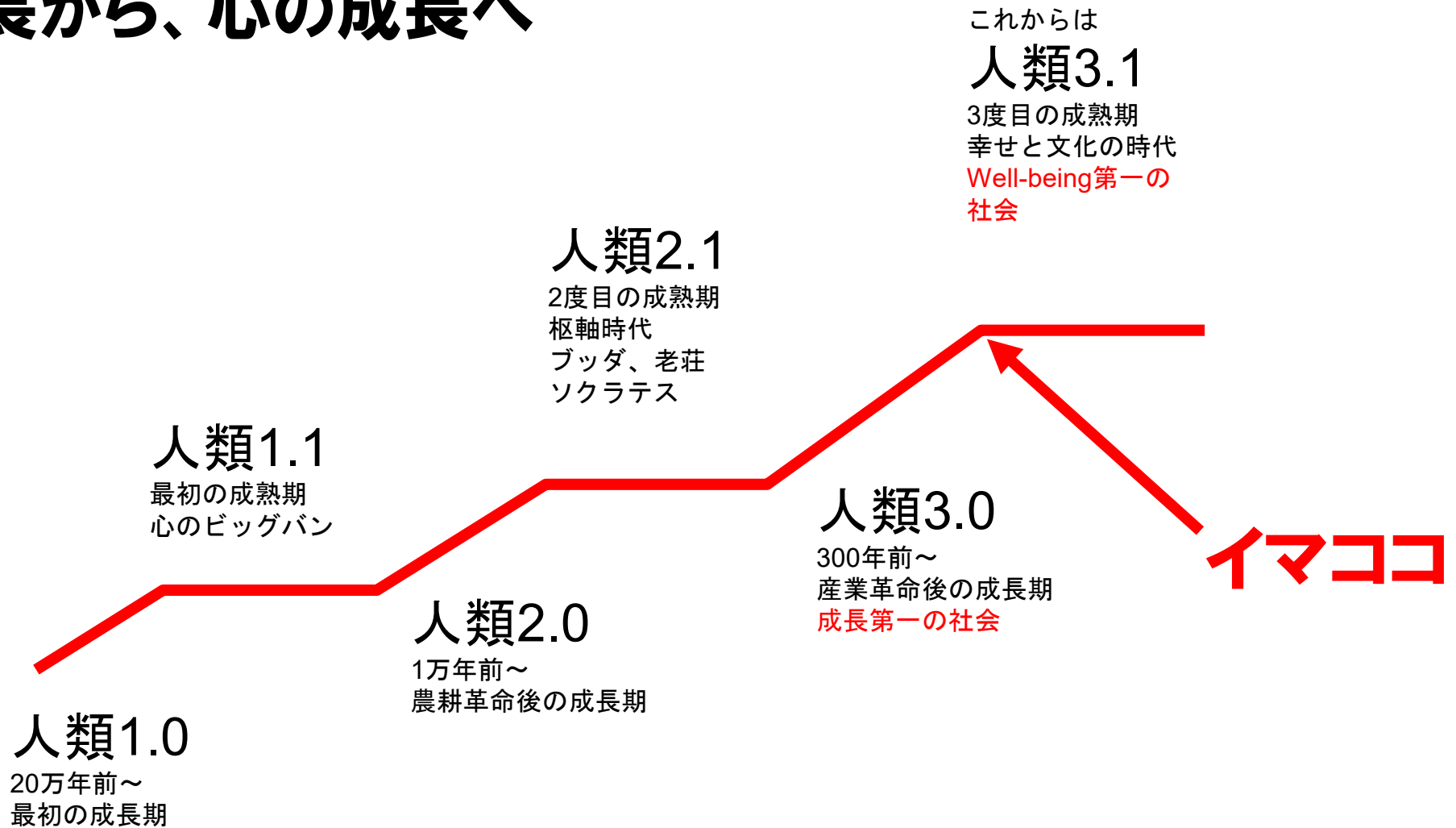
■人類史における拡大・成長と定常化のサイクル



広井良典

『人口減少社会』 広井良典（京都大学こころの未来研究センター教授）

経済成長から、心の成長へ



経済成長から、心の成長へ

- ウェルビーイング産業の進展(健康産業のように幸せ産業が進展)
- 経済成長から心の成長(文化・芸術・感性・創造性・〇〇道・クールジャパン)に価値シフト
- 美しい心、美しい社会の時代へ
- ルネサンスのように、1.1、2.1に学ぶ動きも

これからは

人類3.1

3度目の成熟期
幸せと文化の時代
Well-being第一の
社会

SDGs
MDGs

WGs?

イマココ

ウェルビーイングを陽に考慮した 〇〇のシステムデザイン方法論

ウェルビーイング（幸せ、健康、福祉）については多くの研究が行われており、「何がウェルビーイングに影響するか？」について多くのことがわかっている。

たとえば、利他性、感謝、自己肯定感、やりがい、楽観性、視野の広さ、つながりの質、友人の多様性、などなど。

では、ウェルビーイングを陽に考慮した、ものづくり、ことづくり、人づくり、組織づくりの方法を確立して、広められないか？

システムデザイン学会誌, Vol. 2, No. 1, 2021 (出版準備中)

ウェルビーイングを陽に考慮したシステムデザイン方法論

－ 第1報：設計論の基本概念とその適用領域 －

慶應義塾大学 前野隆司 前野マドカ 保井俊之

和文要旨 本研究では、ウェルビーイング（幸せ、健康、福祉）を陽に考慮したシステムデザイン方法論を提案した。ここでシステムデザインとは、ものづくり（製品設計学）、ことづくり（サービス工学）、組織づくり（幸福経営学）、街づくり（地域活性化学）、人づくり（教育学）、政策づくり（総合政策学）など、学問分野横断型の様々なシステムのデザイン一般を指す。まず、ウェルビーイングの構成要素について示した後に、マトリックス法やブレーンストーミングなどの方法を用いてアイデアを出す手法の概略、その後のデザインプロセスの概略を述べる。さらに、適用領域と適用事例について説明することによって、本手法の適用可能性について論じる。

System Design Methodology Considering Well-Being Explicitly as a Top Priority
First Report: Fundamental Concept and its Application Area

Takashi Maeno, Madoka Maeno and Toshiyuki Yasui, Keio University

Abstract : In this study, we propose a system design methodology that explicitly considers well-being (happiness, health and welfare). Here, system design refers to product design, service design, organization design, town planning, human resource development, and policy making and so on. It means that system design refers to the general design of various cross-disciplinary systems. After showing the components of well-being, the outline of the method for generating ideas and the outline of the subsequent design process are described. Furthermore, the applicability of this method is discussed by explaining the application areas and application examples.

Key words : Well-Being, System Design, Subjective Well-Being

1. はじめに

世界経済フォーラム創設者であるクラウス・シュワブ会長は、2021年1月のダボス会議のテーマがグレートリセットであることを表明した[1]。「世界の社会経済システムを考え直さねばならない。第二次世界大戦後から続くシステムは環境破壊を引き起こし、持続性に乏しく、もはや時代遅れだ。人々の幸福を中心とした経済に考え直すべきだ。」すなわち、幸せ中心社会への転換が必要だという主張である。ここで、幸せと訳された英語はハピネス (happiness) ではなくウェルビーイング (well-being) である。WHOの定義によると、広義の健康とは“身体的、精神的、社会的に良好な状態”[2]のことであり、“良好な状態”はwell-beingの和訳である。すなわち、ウェルビー

イングとは文字通り良好 (well) な状態 (being) であり、身体的な健康、精神的な幸せ、社会的な福祉を包含する概念であるといえる。

このうち、精神的に良好な状態である“幸せ”は、主観的幸福ないしは主観的ウェルビーイング (subjective well-being) と呼ばれ、心理学を中心とした研究分野において多くの研究が行われてきた[3]–[8]。たとえば、幸せな人は不幸な人よりも、寿命が7から10年程度長く、健康であり、創造性が3倍高く、生産性が1.3倍高く、利他的で、やる気があり、自己肯定感が高いという研究結果がある[6]–[8]。また、年齢と幸福度の関係はUカーブになっており、概ね40代前後が底となる傾向がある[7]。さらに、老年的超越[9]という概念が知られており、90歳

イメージ

ウェルビーイング産業

ウェルビーイング
研究の産官学民
連携

ウェルビーイング
哲学・倫理学・
思想

ウェル
ビーイン
グアート



ウェル
ビーイン
グ教育

生きとし生けるものが幸せに生きる
平和な世界を日本がリード

A large heart shape is drawn in the sky using a thin, white, textured line. The heart is centered in the frame. In the upper right corner, there is a bright, glowing light source, possibly the sun or moon, which creates a lens flare effect. The sky is a deep blue with some wispy clouds.

幸せの輪を
広げよう！